

これからも声上げ続ける

8/12
五頁

川内原発前で抗議

危険と隣り合わせイヤ

「われわれは再稼働を許さないぞ」「フクシマのことを忘れるな。11日午前10時半、九州電力川内原発1号機（鹿児島県薩摩川内市）の再稼働が進行されたとの一報が入ると、同原発の各ゲート前に詰めかけた約400人から激しい怒りの声が上がってきました。

早朝から盛りだみ、抗議行動が続けられていた正面ゲート前では、ただちに再稼働に抗議する集会が開かれました。

鹿児島県いちき串木野市に住む高木幸次さん（64）は、同原発の1号機は運転開始から31年が経過した老朽原発だと指摘。「まわめて危険な状態で、いつ重大事故が起こるかわからない」と不安を語りました。



九州電力が川内原発の再稼働を強行した11日、原発から40〜50キロ圏内に位置する熊本県水俣市内で会見した西田弘志市長の発言（要旨）を紹介します。

非常に心配で、残念です。しかも、市議会は九電に住民説明会の開催を求める決議を全会一致で可決し、私も市長として半年前から説明を求めてきましたが、地元の要望に応えられない

不安の声にこたえるべき

熊本・水俣 西田市長が会見
 まま再稼働がなされ、遺憾に思います。事故を想定した避難計画で、国は30キロ圏外について、国は30キロ圏外については全く関与しない立場ですが、福島の事故を見れば被害は30キロ内でも収まらな

いのが明らかです。市民の避難をどうするか、受け入れ先のこともあり、国が何も示さない中で独自に具体策を検討するにも限界があります。

再稼働されてしまった以上、住民の安全を確保するため次の対応を考えていく必要があると思いますが、30キロ圏内の自治体とともに、国に支援を求める必要性も含め検討しなければなりません。実現されなかった住民説明会も引き続き求めていきたい。



川内原発の正面ゲート前で訴える鹿児島県三衆院議員＝11日、鹿児島県薩摩川内市

真島氏は、どの世論対が圧倒的多数だとたかいは続きます。が調査でも再稼働反対述べ、これからまたんばっていきましょ

うと力強く呼びかけました。また、三衆院議員は「怒りの思いでいっぱいです。火山噴火の予知や地震対策、避難計画の実効性などで課題が山積する中で、みじんの道理もない再稼働です」と批判しました。

「すぐ止めろ」官邸前あふれる声

首都圏反原発連合 800人（主催者発表）は11日、九電の参加者から「九州電力川内原発1号機（鹿児島県薩摩川内市）の再稼働強行に対する緊急の首相官邸前抗議行動を行います。仕事帰りのサラリーマンや高校生など一

田市の高校3年生の福田龍紀さん（17）は「福島の状態を見たら動かす選択肢なんてありません。原発がなくなるまで声をあげ続けま

「生きるのに原発なんていらんはい」のむしろ旗を手に参加。原発事故で生まれ育った南九州の自然が壊されるのはイヤです。原発はいらないの意思を示し続けていきます」



川内原発1号機の再稼働に抗議する人たち＝11日、首相官邸前